回　答　書

貴殿作成の令和○年○月○日付通知書に対し、次の通り回答します。

貴殿は、自筆証書遺言の作成日時において、父は既に危篤状態であったのであるから、同遺言は父が作成したものではないと主張しています。

しかし、遺言作成時、父は○○病院に入院していたものの、危篤状態にあったわけではなく、意識ははっきりしていました。

貴殿の主張には理由がありませんので、私は貴殿の要求に応じることはできません。

東京都新宿区○○町○丁目○番○号

甲野次郎　殿

令和○年○月○日

　　　　東京都新宿区○○町○丁目○番○号

　　　　　回答人　甲野太郎　　　　　　㊞